



## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日  
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社  
 コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	37,648	△0.2	4,339	12.6	4,696	12.5	4,238	39.3
2019年9月期第3四半期	37,718	2.3	3,853	△0.9	4,174	△0.2	3,043	1.8

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 3,341百万円 (-%) 2019年9月期第3四半期 △279百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	102.26	101.88
2019年9月期第3四半期	73.08	72.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	113,255	92,244	81.3
2019年9月期	113,863	90,344	79.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 92,034百万円 2019年9月期 90,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2020年9月期	—	18.00	—		
2020年9月期（予想）				20.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	0.0	4,880	4.3	5,320	2.8	4,640	12.6	112.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	42,708,154株	2019年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	1,233,044株	2019年9月期	1,257,206株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	41,453,310株	2019年9月期3Q	41,647,144株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調にあったものの、通商問題の動向や中国経済の減速等に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が国内外の経済活動に深刻な影響を及ぼしており、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は37,648百万円と前年同期並みとなりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比1.3%の減収、主要な海外連結子会社の売上高は、中国子会社が前年同期比2.1%の増収（現地通貨ベースでは同7.6%の増収）、米国子会社が前年同期比6.1%の増収（現地通貨ベースでは同8.6%の増収）、マレーシア子会社が前年同期比2.5%の増収（現地通貨ベースでは同7.0%の増収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、米国子会社及び中国子会社の売上が増加したものの、当社単体の売上が減少したことを主因に前年同期並みの32,179百万円となりました。

フレグランス部門は、インドネシア子会社の売上が減少したことを主因に前年同期比1.1%減少し、5,469百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上原価率の改善による売上総利益の増加、並びに販売費及び一般管理費の減少を主因に前年同期に比べ485百万円（12.6%）増加し、4,339百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ521百万円（12.5%）増加し、4,696百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加、並びに投資有価証券売却益及び固定資産売却益を特別利益に計上したことを主因に、前年同期に比べ1,195百万円（39.3%）増加し、4,238百万円となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。

（日本）

売上高は27,843百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は3,147百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

（アジア）

売上高は5,936百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は749百万円（前年同期比115.3%増）となりました。

（米国）

売上高は4,674百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は411百万円（前年同期比481.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

前連結会計年度末に比べ、有価証券が3,999百万円、商品及び製品が421百万円それぞれ増加した一方で、投資有価証券の売却にかかる未収入金を主とした流動資産その他が1,623百万円、現金及び預金が997百万円それぞれ減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,810百万円増加し、58,430百万円となりました。

## (固定資産)

前連結会計年度末に比べ、償却が進行した結果、有形固定資産が781百万円、無形固定資産が262百万円それぞれ減少しました。また、投資その他の資産が、投資有価証券を売却したことなどにより1,375百万円減少しました。これらを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,418百万円減少し、54,824百万円となりました。

## (流動負債)

前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が1,134百万円、賞与引当金が779百万円それぞれ減少したことを主因に、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,080百万円減少し、9,629百万円となりました。

## (固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が417百万円減少したことを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ429百万円減少し、11,380百万円となりました。

## (純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が2,746百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が932百万円減少しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1,900百万円増加し、92,244百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,730	14,732
受取手形及び売掛金	15,792	16,039
有価証券	7,999	11,999
商品及び製品	7,236	7,657
仕掛品	107	150
原材料及び貯蔵品	7,320	7,047
その他	2,469	845
貸倒引当金	△35	△42
流動資産合計	56,620	58,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,127	15,525
その他(純額)	12,690	12,510
有形固定資産合計	28,817	28,035
無形固定資産		
のれん	716	599
その他	3,461	3,316
無形固定資産合計	4,177	3,915
投資その他の資産		
投資有価証券	22,680	21,335
退職給付に係る資産	18	19
その他	1,598	1,570
貸倒引当金	△48	△51
投資その他の資産合計	24,248	22,873
固定資産合計	57,243	54,824
資産合計	113,863	113,255
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,401	5,315
1年内返済予定の長期借入金	0	—
未払法人税等	1,648	513
賞与引当金	1,296	516
役員賞与引当金	61	—
その他	3,301	3,284
流動負債合計	11,709	9,629
固定負債		
繰延税金負債	3,787	3,370
退職給付に係る負債	6,998	7,153
資産除去債務	68	69
長期未払金	887	654
その他	68	132
固定負債合計	11,809	11,380
負債合計	23,519	21,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,297	7,298
利益剰余金	67,570	70,317
自己株式	△1,856	△1,820
株主資本合計	78,377	81,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,540	12,607
為替換算調整勘定	△1,459	△1,463
退職給付に係る調整累計額	△309	△270
その他の包括利益累計額合計	11,771	10,874
新株予約権	195	210
純資産合計	90,344	92,244
負債純資産合計	113,863	113,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	37,718	37,648
売上原価	23,272	22,999
売上総利益	14,446	14,649
販売費及び一般管理費	10,592	10,310
営業利益	3,853	4,339
営業外収益		
受取利息	63	72
受取配当金	203	197
為替差益	—	6
その他	88	95
営業外収益合計	355	371
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	26	—
その他	8	12
営業外費用合計	34	13
経常利益	4,174	4,696
特別利益		
固定資産売却益	—	320
投資有価証券売却益	—	867
特別利益合計	—	1,187
特別損失		
固定資産廃棄損	49	34
特別損失合計	49	34
税金等調整前四半期純利益	4,125	5,849
法人税等	1,081	1,610
四半期純利益	3,043	4,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,043	4,238

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,043	4,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,086	△932
為替換算調整勘定	△1,273	△3
退職給付に係る調整額	37	38
その他の包括利益合計	△3,323	△897
四半期包括利益	△279	3,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△279	3,341
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

第1四半期連結会計期間より、米国会計基準を適用する米国子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(IFRS16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国会計基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞に伴い、当社グループでは、当初計画に織り込んでいた需要が見込めず、当初計画を下方修正するなど、業績への影響が生じております。新型コロナウイルスの今後の収束時期を正確に予測することは困難な状況ではありますが、当社グループは2021年9月期の一定期間にわたり影響が継続すると仮定しております。

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性については、上記を考慮して見積り及び判断を行っておりますが、現時点において当第3四半期連結会計期間における見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。

(自己株式の取得)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上と株主還元の実現を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類：普通株式

(2) 取得し得る株式の総数：1,000,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.4%)

(3) 株式の取得価額の総額：2,000百万円(上限)

(4) 取得期間：2020年3月30日～2020年9月30日

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,668	5,742	4,307	37,718	—	37,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	554	156	105	815	△815	—
計	28,222	5,898	4,412	38,534	△815	37,718
セグメント利益	3,368	348	70	3,787	66	3,853

(注) 1. セグメント利益の調整額66百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額52百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額13百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,279	5,795	4,573	37,648	—	37,648
セグメント間の内部売上高 又は振替高	563	140	100	804	△804	—
計	27,843	5,936	4,674	38,453	△804	37,648
セグメント利益	3,147	749	411	4,309	30	4,339

(注) 1. セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額41百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△7百万円、その他△3百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。